

「何をどのような人に伝えたいか」という事について情報を整理した後は、メインのターゲットを想定します。これは、ターゲット以外のユーザーの事を考える必要がなくなるという訳ではありません。訪問してくれるユーザーの中で、最も多いと思われるタイプを絞り、そのユーザーの行動パターンを想像することで、ホームページの運営手法を具体化するのに役立つのです。

本来なら、代表的なユーザー像を浮き彫りにする作業を想像だけで創り上げる訳にはゆきません。さまざまな調査結果やアクセス解析などを用い、細かく分析した上で、より事実に近い架空のユーザー像を設定するべきだと思いますが、これから、はじめてのホームページを制作するという場合において、活用しうるデータが存在しないというケースもあります。

そのような時はどうすればよいのでしょうか？

無理に具体的なユーザー像を造ろうとするのではなく、競合サイトがどのようなユーザーをターゲットにしているのか？競合サイトが大切にしていると思われるイメージやデザインの路線などを研究してください。

注意しなければならない事は、ホームページを運営する人の個人的な趣味趣向だけでページを作ってしまう、ユーザーから支持されず、自己満足で終わってしまうという困った失敗を引き起こさないようにすることです。



Persona Profile

name	(満 歳)
<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	